

# ひらがな表記する（開く）語句のリスト

## <背景にある考え方・知識>

- ・漢字による高尚さやフォーマル感より、ひらがなによる読みやすさを優先する文章が対象
- ・漢字とひらがなの割合が3：7程度の文章が読みやすい（経験則）
- ・漢字が連続する文章は読みにくい
- ・常用漢字で書ける名詞・動詞・形容詞は漢字で書くので、それ以外の品詞を開く

	開く語句（代表例）		備考（品詞の役割や、開くべき理由など）
	漢字	ひらがな	
接続詞	但し	ただし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞は文頭に来ることがほとんどなので開く               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 文頭がひらがなだと読みやすい</li> </ul> </li> <li>・順接の接続詞は、開く前にカットできないか検討する               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ カットしても意味が通じることがほとんど</li> <li>－ 接続詞を使うとしても、「よって」で十分</li> </ul> </li> </ul>
	尚	なお	
	又は	または	
	更に	さらに	
	例えば	たとえば	
	従って	したがって	
	故に	ゆえに	
	及び	および	
副詞	全て	すべて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（副詞が修飾する）動詞・形容詞を漢字で書くので開く               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 漢字とひらがながバランスよく交互に現れると読みやすい</li> </ul> </li> <li>・意味が曖昧になる副詞は、開く前にカットできないか検討する               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 例：「極めて」は程度が曖昧なので使わないほうが無難</li> </ul> </li> <li>・音読みの副詞は開かないほうがよいケースもある               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 例：少々、決して～ない、一段と、非常に、無性に</li> </ul> </li> </ul>
	全く	まったく	
	最も	もっとも	
	既に	すでに	
	是非	ぜひ	
	予め	あらかじめ	
	殆ど	ほとんど	
	直に	じかに	
形式名詞	～する事	～すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形式名詞とは、実質的な意味を持たない名詞のこと</li> <li>・漢字で書くと実質的な意味があるように見えるので開く</li> <li>・その他：「～する度」、「～する為」、「～する筈」、など</li> </ul>
	～する物	～するもの	
	～する所	～するところ	
	～する時	～するとき	
	～する上で	～するうえで	
	～の通り	～のとおり	
	～の方が	～のほうが	
	～の様に	～のように	

	開く語句（代表例）		備考（品詞の役割や、開くべき理由など）
	漢字	ひらがな	
補助動詞	～して行く	～していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助動詞とは、別の動詞をサポートする動詞のこと</li> <li>－ 本来の意味は失われているので、漢字を開く</li> <li>・開く前にカットできないか検討する</li> <li>－ そもそも使わなくていいケースも多い</li> <li>－ 「～する」と書いても同じ意味で、文字数が減らせる</li> </ul>
	～して来る	～してくる	
	～して置く	～しておく	
	～して見る	～してみる	
	～して頂く	～していただく	
	～して下さい	～してください	
複合動詞	動き出す	動きだす	<ul style="list-style-type: none"> <li>複合動詞とは、2語以上の動詞が複合してできた語句</li> <li>・後ろの動詞を開くと読みやすくなるケースがある</li> </ul>
	動き回る	動きまわる	
	動き過ぎる	動きすぎる	
	動き続ける	動きつづける	
副助詞	～等	～など	<ul style="list-style-type: none"> <li>副助詞とは、さまざまな語句の後ろについて意味を添える助詞</li> <li>・前に来る語句が漢字であることが多いので開く</li> </ul>
	～位	～くらい	
	～頃	～ころ	
	～程	～ほど	
	～迄	～まで	
連体詞	色々な	いろいろな	<ul style="list-style-type: none"> <li>連体詞とは、活用がなく、体言（名詞や代名詞）を修飾する品詞</li> <li>・修飾する体言が漢字であることが多いので開く</li> </ul>
	様々な	さまざまな	
	大した	たいした	
	所謂	いわゆる	
当て字	上手く	うまく	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字にする意味がないので開く</li> <li>－ 漢字だと読みにくく、仰々しい印象を与えるだけ</li> </ul>
	有難う	ありがとう	
	出来る	できる	
	相応しい	ふさわしい	
その他	有る・無い	ある・ない	・存在の有無を表現するときだけ漢字にする
	言う・～と言う	いう・～という	・英語の「say（発声する、述べる）」の意味が弱いときは開く
	良い・良く	よい・よく	・すべて開くか、「good」の意味のときだけ「良」を使う
	辛い	つらい・からい	・読み方が複数あって混乱するので開く
	他	ほか	・「ほか」と読むときは開く

参考文献：『記者ハンドブック 第14版: 新聞用字用語集』、共同通信社、2022年